

# 黄色肉芽腫性胆嚢炎の患者さんへ

金沢医科大学 一般・消化器外科学  
研究責任者 上田順彦

私たちは「黄色肉芽腫性胆嚢炎の臨床的特徴と治療指針に関する研究」という臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。患者さん又は患者さんの家族等が、この研究のために患者さん本人の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、下記の間合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

**研究課題名** 黄色肉芽腫性胆嚢炎の臨床的特徴と治療指針に関する研究

## 研究の意義・目的

黄色肉芽腫性胆嚢炎(Xanthogranulomatous cholecystitis；以下 XGC)は急性胆嚢炎の炎症消退時の変化の一型で胆嚢癌との鑑別を要し、術式選択に苦慮する症例も多いです。画像診断が進歩しても胆嚢癌と XGC を明確に判別することは困難であるが、良性疾患である XGC に対して過大手術をできるだけ回避する必要があります。そのため本研究では、XGC の臨床的特徴を明らかにし治療指針について研究することを目的としました。

患者さんにはこれら日常診療の中で得られた様々な検査結果、画像所見、細菌培養結果などをこれらの研究の資料として活用させていただくことをご了承いただきたいと存じます。

## 研究の対象者・研究期間

対象者：2009年1月～2021年8月までに金沢医科大学病院 一般・消化器外科にて黄色肉芽腫性胆嚢炎と診断され、手術を受けられた患者さん。年齢層は20歳～100歳です。

研究期間：倫理審査委員会承認後～2022年11月30日

## 研究の方法・研究に用いる試料・情報の種類

この臨床研究では当科で経験した黄色肉芽腫性胆嚢炎の症例を対象に臨床データを集積して解析します。患者さんの主な情報・資料として、病歴、基礎疾患の治療歴、血液、画像所見、細菌培養結果、手術術式と術中の状況、手術で摘出した組織、術後経過、合併症の発生状況および対処法と成果等です。これらの情報より、1)発作の回数と胆嚢炎の重症度、2)直近の発作から手術までの期間、3)閉塞機転、4)胆嚢壁の状況、5)MRI 拡散強調および PET-CT 所見、6)画像の経時的変化、7)術前診断と手術術式および病理所見などを検討します。

研究に用いる患者さんの情報としては

- ・病歴、既往歴、治療効果 等
- ・血液、ドレーンからの排液、手術で摘出した組織、細菌培養結果 等
- ・手術術式と術中の状況 等
- ・画像検査所見、内視鏡検査所見、病理所見 等

この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。

なお、研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。

### プライバシーの保護と研究の発表先について

- (1) 参加された方の秘密は守られ、名前や個人を識別する情報は一切公表されません。
- (2) この研究で得られた情報を、関連学会や医学雑誌などに発表させていただくことがありますが、この場合であってもあなたの名前や個人を識別する情報は一切公表されません。

### 研究機関

金沢医科大学

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1丁目1番地

TEL：076-286-2211（代表）

この研究は金沢医科大学でのみ行われ、外部に患者さんの情報を提供する事はありません。

### 研究に関するお問い合わせについて

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

### お問い合わせ先

金沢医科大学 一般・消化器外科学 上田 順彦、三浦聖子

住所：〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1-1

電話：076-286-2211（内線3127）

### 研究責任者

金沢医科大学 一般・消化器外科学 教授 上田 順彦

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：上記

2021年9月8日作成